

# 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 予選審査及び本大会出場チーム選考実施要領

## 1 予選審査会の概要

- (1) 日程 平成29年8月2日（水）から3日（木）まで
- (2) 場所 鳥取県庁（鳥取県鳥取市東町一丁目220番地）
- (3) 補足
  - ア 会場は変更する場合がある。
  - イ 予選審査結果の発表は、平成29年8月3日（木）に行う。
  - ウ イの発表は、公開の上行う。また、発表会の様子は、「手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル」(YouTube) 上でライブ中継を行う。なお、発表後、大会公式ホームページに結果を掲載する。

## 2 審査員

審査員は、ろう者2名及び聞こえる人2名の4名とし、このうち1名を審査員長とする。

## 3 審査方法

4の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技（動画）を審査及び採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

## 4 採点方法

- (1) 各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話の正確性・ 分かりやすさ	演出力・ パフォーマンス度	合 計
ろう者	(30点満点)	(30点満点)	(60点満点)
ろう者	(30点満点)	(30点満点)	(60点満点)
聞こえる人		(40点満点)	(40点満点)
聞こえる人		(40点満点)	(40点満点)
合計	(60点満点)	(140点満点)	(200点満点)

- (2) 各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。

ア 手話の正確性・分かりやすさ

セリフ（音声表現、字幕）と手話が正しく表現されているか。表情も使って分かりやすく表現されているか。演技者が表現したい内容が伝わり理解できるか。

イ 演出力・パフォーマンス度

チームとしての一体感があるか。機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあるか。演技者が込めた思いやメッセージがしっかりと伝わってくるか。構成や演出がよく工夫されているかどうか。

- (3) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議（減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。）により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項 目	内 容
差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
第三者の権利を侵害する内容が含まれる場合	失格
本大会では準備に大幅に時間を要する又は使用（再現）できないことが明らかな大道具、設備、演出等の使用	失格
演技上のセリフや歌詞、手話に対応した字幕の表示が不十分な場合	10点減点
動画制限時間（3分）を超過した場合	10点減点
その他、定められた動画の撮影方法に反した場合※	5点減点
その他、不適切と認めた演技又は行為	失格又は減点

※ 「その他、定められた動画の撮影方法に反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、審査に影響がない場合を除く。

- ・演技者の正面で撮影していない場合。
- ・カメラを固定せず、ズームやワイド等の倍率の変更及びカメラを移動させて撮影している場合。
- ・背景に画像や動画を演出として使用している場合。ただし、演技の構成上、必要性がある場合は除く。
- ・演技者の全身が表示されていない場合。ただし、前後の列となる場合の後列の演技者や着席している場合は、手話が見えるよう少なくとも上半身を表示させればよい。
- ・映像の明度が非常に低く、演技者の表情や手話がよく見えない場合。
- ・字幕が認識しづらい場合（文字の大きさが非常に小さい、文字色が薄い、背景と同化しているなど）。
- ・字幕を固定して表示していない（文字が流れる字幕表示をしている）場合。

## 5 本大会出場チームの選出

### (1) 地方ブロック枠（12チーム）

応募チームを所在地別に6つの地方ブロック（北海道・東北ブロック、関東ブロック、中部ブロック、近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州・沖縄ブロック）に振り分け、各ブロックで審査得点が高い上位2チームを本大会出場チームに選出する。

### (2) 得点順枠（7チーム又は8チーム）

(1)の選出チームを除き、審査得点が高い順に7チームを本大会出場チームに選出する。なお、(3)の該当チームがない場合は、8チームを選出することとする。

### (3) 開催地枠（1チーム又はなし）

(1)の選出チームを除き、開催地（鳥取県）のチームで審査得点が高いチームを本大会出場チームに選出する。ただし、開催地（鳥取県）のチームが(2)の選出チームに含まれている場合は、選出しない。

### (4) 補足

ア 各地方ブロック内において参加申込みが2チーム未満のため、(1)に定めるチーム数を選出できない場合又は(3)の選考の対象となるチームがなく(3)に定めるチーム数を選出できないときは、それぞれ(2)の本大会選出チームの数に加えることとする。

イ 審査得点が高点となり、順位を審査得点では決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。

- (ア) 「手話の正確性・分かりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。
- (イ) (ア)が同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。
- (ウ) (イ)が同点の場合は、審査員長が順位を決定する。

## 6 本大会での演技順

(1) 開催地枠の選出チームが最初に演技を行う。なお、開催地枠の選出チームがない場合は、(2)のBグループを10チームとする。

(2) 2番目以降の演技順については、残りの19の本大会出場チームを2つのグループに分け、審査得点が下位の9チームをBグループ、上位の10チームをAグループとして、各グループ内で演技順を抽選する。本大会ではBグループ、Aグループの順に演技する。

なお、当該抽選は、予選審査結果の発表後に続いて行う。

## 7 予選審査結果の通知及び公表

(1) 参加申込みチームに対し、予選審査結果（本大会出場又は落選）、審査得点及び審査員評（審査員名は非公開）を通知する。また、失格となったチームに対しては、その旨を通知することとする。なお、辞退したチームについては、通知しない。

(2) 本大会出場チームについては、チーム名及び審査得点を大会公式ホームページに掲載する。

## 8 その他

(1) 予選審査結果の発表時に抽選を行い、選手宣誓を行うチームを決定する。

(2) 予選参加の申込みを行ったものの、期限までに予選審査動画を提出しなかったチームは、失格とする。

(3) 参加申込みチームは、予選審査会の前日までに自由に参加を辞退することができる。なお、本大会出場チームに選出されたチームが本大会の出場を辞退することは、原則として認めない。

【別記】 地方ブロックについて

ブロック名	都道府県名	ブロック名	都道府県名
北海道・東北ブロック	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	近畿ブロック	三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
関東ブロック	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	中国・四国ブロック	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
中部ブロック	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県	九州・沖縄ブロック	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県